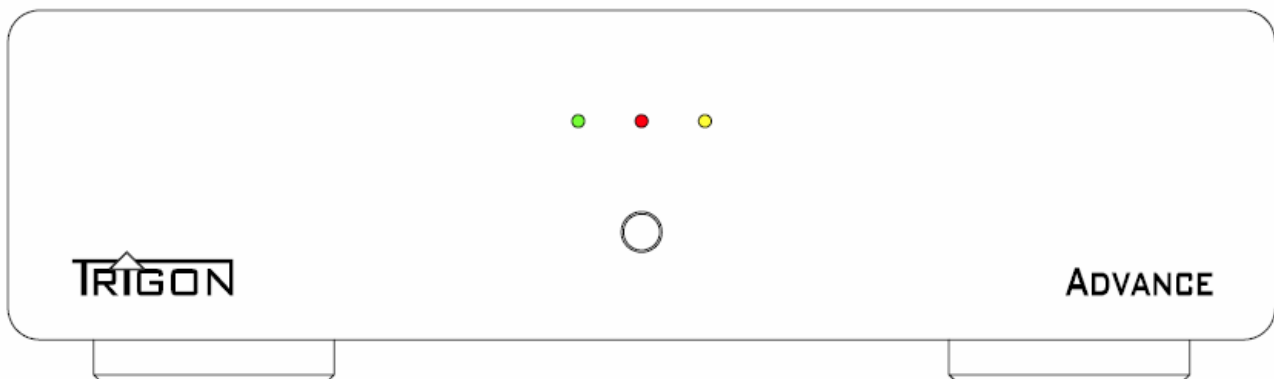




## OPERATING INSTRUCTIONS

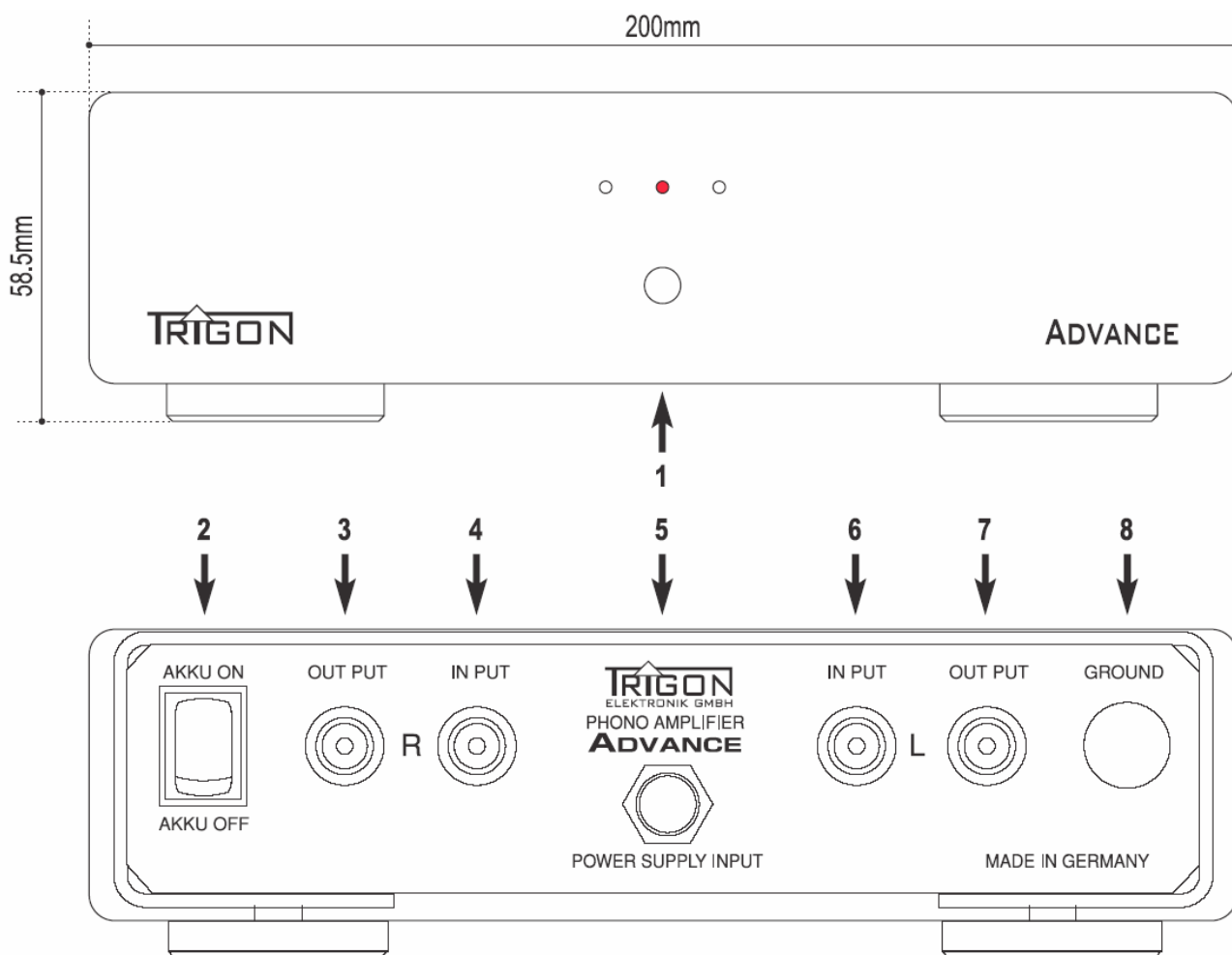
FOR PHONO AMPLIFIER

### Advance



この度は、Trigon Advance をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本製品は、厳重な管理の下製造されており、最新の精密技術を搭載しております。  
以下の操作説明書をよくお読みいただいた上でご使用下さい。

## 1. 操作と接続



### (1) 操作ボタンとコントロールランプ

Advance フォノアンプは、ボタン(1)を押すことにより電源のオン/オフを行うことができます。またこのボタンには、Advance の二つの動作モード（ピュア・バッテリー・モードと AC・オンライン・モード）を切り替える機能も備わっています。

このボタンを短く押すことにより、Advance の電源をオンにすることができます。その状態でボタンを短く押す動作を繰り返すと、上記の動作モードが切り替わります。Advance の電源をオフにするには、このボタンを約 2 秒押し続けます。そのときどきの動作状況は、当該ボタンの上に位置する LED に表示されます。

[表 1: LED 表示とシステムの状態]

すべての LED が消灯	電源がオフの状態です。バッテリースイッチがオンになっている場合は、電源ユニットから充電器の自動コントローラーに電力が供給されており、バッテリーの充電も行われています。
赤色 LED が点灯	システムの電源はオンの状態で、AC・オンライン・モードで動作しています。Advance のスイッチをオンにすると、まず赤色 LED が数回点滅し、その後点灯します。これでオーディオ信号が出力される状態になります。 電源ユニットが接続されていない場合、緑色 LED が点滅し、システムはピュア・バッテリー・モードで起動します。
赤色と黄色 LED が点灯	システムはAC・オンライン・モードで動作しており、黄色 LED はバッテリーがフルに充電されていることを示します。
緑色 LED が点灯	システムはピュア・バッテリー・モードで動作しており、電源ユニットは制御回路と表示用 LED にしか電力を供給しません。バッテリーがフルに充電されると、ピュア・バッテリー・モードで約 6 時間再生を行うことができます。
緑色 LED が点滅	バッテリーの残量が少なくなっているため、再度充電を行ってください。ボタン (1) を短く一回押して、AC・オンライン・モードに切り替えます。
赤色と緑色 LED が点灯	ピュア・バッテリー・モードから AC・オンライン・モードに切り替えたとき、電源ケーブルが電源コンセントに接続されていません。

Advance の電源コードをコンセントに差し込むと、緑色 LED が消灯し赤色 LED のみ点灯し続けるようになります。この状態は、AC・オンライン・モードが再度実行されていることを示します。

## (2) バッテリースイッチ

このスイッチを操作することにより、バッテリーをシステムから電氣的に切り離すことができます。

(ON: バッテリーとシステムが接続されます OFF: バッテリーがシステムから切り離されます)

**バッテリーの過放電を避けるため、長期間使用しない場合  
(本体輸送したり、旅行に出かける場合など)は、この操作を必ず行って下さい。**

### **!! 重要 !!**

Advance が電源にもバッテリーにもつながっていない(バッテリースイッチがオフの状態でも電源も接続されていない)状態から電源ケーブルをコンセントにつないだ場合、必ず数秒経ってから Advance のバッテリースイッチをオンにするようにしてください。バッテリーがフル充電されている場合、システムはピュア・バッテリー・モードの状態でも約 6 時間動作します。

### **!! 注意 !!**

バッテリーモードでは、電源ケーブルをコンセントから切り離しても動作は可能です。しかし、この場合制御回路および表示用 LED の電力もバッテリーから供給されるため、稼働時間が 6 時間より短くなります。

---

### (3) ライン出力 - 右チャンネル

右チャンネルの出力端子です。プリアンプあるいはプリメインアンプのラインレベル入力 (AUX 等) に接続します。また、CD 入力や TAPE 入力に接続することも可能です。

### (4) ライン入力 - 右チャンネル

アナログ・レコード・プレーヤーの右チャンネル出力を接続します。本体底面のディップスイッチで、負荷インピーダンスの調整・確認を行うことができます (表 5 参照)。

### **注意！**

**RCA ピンプラグを外すときには、回さずに真っ直ぐ引き抜くようにしてください。**

**ピンプラグを回しながら外すと内部配線が断線する恐れがあります。**

### (5) 電源ケーブル

電源ケーブルを電源コンセントに接続する場合、バッテリースイッチ(2) がオフになっている場合は、オンにしてください。また、ケーブルのコネクター部分を分解したり、被服を剥がすようなことはしないでください。事故や故障の原因となります。

### (6) ライン入力 - 左チャンネル

4 と同様です (左チャンネル)。

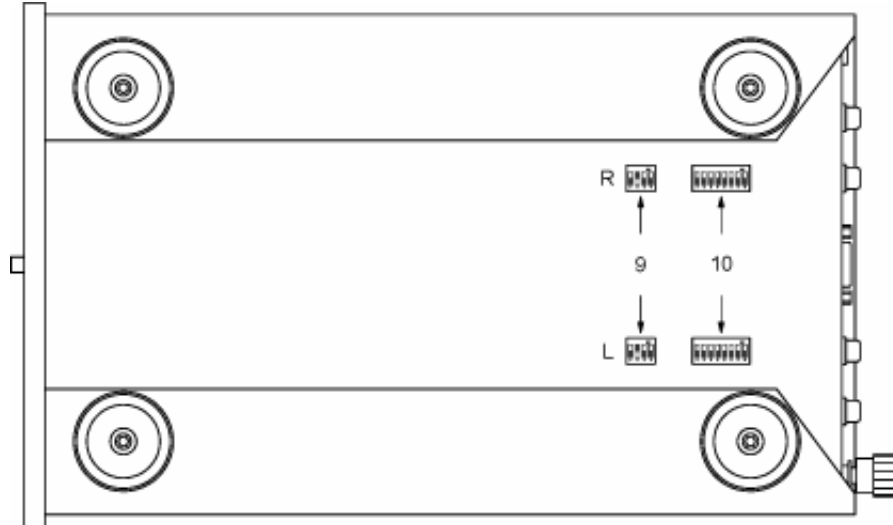
### (7) ライン出力 - 左チャンネル

3 と同様です (左チャンネル)。

### (8) グラウンド端子

アナログ・レコード・プレーヤーのアースケーブル (あるいはグラウンドケーブル) を接続します。アースケーブルはほとんどの場合カートリッジの出力とは別線で供給され、その終端には Y ラグがついています。Y ラグを接続するには、グラウンド端子のつまみをいったん少し緩めて、Y ラグを差し込んだ後につまみを締めます。ケーブル端の被覆を剥いただけの場合は、つまみの横の穴に差し込んでから固定します。

[表 2: 本体底面に配置された、ゲイン(9)および負荷インピーダンス(10)設定用ディップスイッチ]



### (9) ゲイン設定用ディップスイッチ

このスイッチにより、左右チャンネルのゲインを個別に設定することができます。設定値については、以下の表をご覧ください。Advance 底面の四連ディップスイッチを操作することにより、左右それぞれのチャンネルのゲインを独立に設定することが可能です。表に示されている通り、ゲインは 35.7dB から 60.2dB の間で 16 段階に設定可能です。

[表 3: ゲイン設定用ディップスイッチの設定]

S1	S2	S3	S4	Reinforcement in dB	For systems with the following output voltages
0	0	0	0	35.7	8mV
1	0	0	0	41.5	4mV
0	1	0	0	45.3	2.7mV
1	1	0	0	47.6	2mV
0	0	1	0	48.8	1.8mV
1	0	1	0	50.4	1.5mV
0	1	1	0	51.9	1.2mV
1	1	1	0	53.2	1.1mV
0	0	0	1	56	0.8mV
1	0	0	1	56.8	0.7mV
0	1	0	1	57.6	0.64mV
1	1	0	1	58.2	0.59mV
0	0	1	1	58.6	0.58mV
1	0	1	1	59.1	0.54mV
0	1	1	1	59.8	0.51mV
1	1	1	1	60.2	0.5mV

---

ご使用のカートリッジの出力と完全に一致する値が表中に無い場合、その値にもっとも近い値を選んでください。

先の表に従って設定することにより、DIN 規格で定められた 500mV の出力電圧を得ることができます。お使いのプリアンプやプリメインアンプの入力感度やゲインにもよりますが、望ましい再生音量を得るには、より小さな出力でも明らかに充分という場合があります。より低いゲインの方が音質的に好ましい場合があるということも、その際に体験していただけることでしょう。

出力電圧が 8mV を超えるような出力の大きなカートリッジを接続することももちろん可能ですが、その場合、入力オーバーに対するヘッドマージンが小さくなります。つまり、オーバーレギュレーションが発生し、その結果歪みが大きくなるという現象が起こりやすくなるのです。

出力電圧が 0.5mV に満たないような小出力カートリッジもまた、問題なく使用することができます。

### (10) 負荷インピーダンス設定用ディップスイッチ

このスイッチにより、左右チャンネルの負荷インピーダンスを個別に設定することができます。設定値については、以下の表をご覧ください。

[表 4: 負荷容量設定用ディップスイッチの設定]

S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	Entrance capacity	Input impedance in ohm
0	1	0	0	0	0	0	0	47pF	47000,0
1	0	0	0	0	0	0	0	100pF	47000,0
1	1	0	0	0	0	0	0	147pF	47000,0

スイッチ S1 および S2 をオンにすると、補正用コンデンサーが磁気システムに接続されます。

MM カートリッジを使用する場合は、スイッチ S3 ~ S8 をオフの位置にセットします。MM カートリッジは通常、負荷インピーダンス 47kΩ で使用するからです。

**MC 使用時の負荷容量は S1、S2 とともに“0”で設定してください。**

補正用コンデンサーが接続されていない状態の負荷容量は、Advance の場合およそ 60 ~ 100pF になります。

補正用静電容量は負荷容量にそれぞれ加算されます。アナログ・レコード・プレーヤーと Advance 間のケーブル、さらにはトーンアームパイプ内のケーブルの線間容量も加算されます。というように、補正用コンデンサー無しの状態でも 200 ~ 300pF が生じるのです。

カートリッジのメーカーが推奨する補正用静電容量は、カートリッジ製造時にしばしば発生するばらつきを考慮して、20 ~ 30%の偏差を許容できる数値になっています。

[表 5: 負荷インピーダンス設定用ディップスイッチの設定]

100p	47p	1800	1000	470	220	100	47		input impedance computes
S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8..		
0	0	0	0	0	0	0	0		47000,0
0	0	1	0	0	0	0	0		1733,6
0	0	0	1	0	0	0	0		979,2
0	0	1	1	0	0	0	0		634,2
0	0	0	0	1	0	0	0		465,3
0	0	1	0	1	0	0	0		369,8
0	0	0	1	1	0	0	0		317,6
0	0	1	1	1	0	0	0		269,9
0	0	0	0	0	1	0	0		219,0
0	0	1	0	0	1	0	0		195,2
0	0	0	1	0	1	0	0		179,6
0	0	1	1	0	1	0	0		163,3
0	0	0	0	1	1	0	0		149,4
0	0	1	0	1	1	0	0		137,9
0	0	0	1	1	1	0	0		130,0
0	0	1	1	1	1	0	0		121,2
0	0	0	0	0	0	1	0		99,8
0	0	1	0	0	0	1	0		94,5
0	0	0	1	0	0	1	0		90,7
0	0	1	1	0	0	1	0		86,4
0	0	0	0	1	0	1	0		82,3
0	0	1	0	1	0	1	0		78,7
0	0	0	1	1	0	1	0		76,1
0	0	1	1	1	0	1	0		73,0
0	0	0	0	0	1	1	0		68,6
0	0	1	0	0	1	1	0		66,1
0	0	0	1	0	1	1	0		64,2
0	0	1	1	0	1	1	0		62,0
0	0	0	0	1	1	1	0		59,9
0	0	1	0	1	1	1	0		58,0
0	0	0	1	1	1	1	0		56,5
0	0	1	1	1	1	1	0		54,8
0	0	0	0	0	0	0	1		47,0
0	0	1	0	0	0	0	1		45,8
0	0	0	1	0	0	0	1		44,8
0	0	1	1	0	0	0	1		43,8
0	0	0	0	1	0	0	1		42,7
0	0	1	0	1	0	0	1		41,7
0	0	0	1	1	0	0	1		40,9
0	0	1	1	1	0	0	1		40,0
0	0	0	0	0	1	0	1		38,7
0	0	1	0	0	1	0	1		37,9
0	0	0	1	0	1	0	1		37,3
0	0	1	1	0	1	0	1		36,5
0	0	0	0	1	1	0	1		35,8
0	0	1	0	1	1	0	1		35,1
0	0	0	1	1	1	0	1		34,5
0	0	1	1	1	1	0	1		33,9
0	0	0	0	0	0	1	1		32,0
0	0	1	0	0	0	1	1		31,4
0	0	0	1	0	0	1	1		31,0
0	0	1	1	0	0	1	1		30,4
0	0	0	0	1	0	1	1		29,9
0	0	1	0	1	0	1	1		29,4
0	0	0	1	1	0	1	1		29,0
0	0	1	1	1	0	1	1		28,6
0	0	0	0	0	1	1	1		27,9
0	0	1	0	0	1	1	1		27,5
0	0	0	1	0	1	1	1		27,1
0	0	1	1	0	1	1	1		26,7
0	0	0	0	1	1	1	1		26,3
0	0	1	0	1	1	1	1		26,0
0	0	0	1	1	1	1	1		25,7
0	0	1	1	1	1	1	1		25,3

1: ON ポジション

0: OFF ポジション

---

## 2. スペック

動作モード.....	ピュア・バッテリー・モード
.....	AC・オンライン・モード
ピュア・バッテリーモード動作時間.....	最長約6時間(フル充電時)
ゲイン設定.....	35.7 ~ 60.2 dB (16ステップ可変)
インピーダンス設定.....	25.3Ω ~ 47Ω(64ステップ可変)
負荷容量設定.....	47pF、100pF、147pF
接続端子.....	RCA-IN/OUT各1系統
S/N比.....	-72dB (増幅度60dB時)
.....	-94dB (増幅度36dB時)
周波数特性.....	± 0,2 dB RIAA偏差
歪み率(THD + N).....	0.06%
クロストーク.....	-96.2 dB (10KHz時)
重量.....	4.8kg
サイズ.....	H58.5mm x W200mm x D320mm
仕上げ.....	ブラック、シルバー

### 総輸入代理店

フューレンコーディネート

フリーダイヤル

0120 - 004884